目指す学校像

美しい学校

明るく笑顔で大きな声で挨拶できる学校

思いやりや温かさがある学校

教育目標 自ら学び、考える、心豊かな活力ある生徒の育成 ~学力・コミュニケーション力の伸長とともに~

授業改善の取り組み

「ことばの力育成」の取り組み

- ①コミュニケーション能力の向上 コミュニケーション・トレーニ ング (コミトレ) に取り組む ②読書習慣の定着・習慣化
- ③協同学習の研究
- 「授業の主役は生徒」 全教科で協同学習に取り組み、 主体的に授業に取り組む生徒を 育成する。

本校教育課題

- ○家庭学習の不足
- ○男女のバランスの悪さ
- ○少人数による友達関係の難しさ
- ○部活動の運営の難しさ ○通学バスや送り迎え等による運 動不足

<地域との関係>

家庭・地域・学校・関係機関の 連携を密にし、開かれた学校作 りに努め、特に保小中の連携を 強める。(美中校区の教育を考 える会)

<知性> く友愛> く健康・体力> 学習の目的を理解し学ぶ 明るく思いやりがあり 健康で忍耐強く何事にも 心豊かな生徒 楽しみを感じられる生徒 一生懸命取り組める生徒 目指す生徒像

「学び方」を身につけ学習に主体的

<セルフラーニング>

誰にでも明るく元気に挨拶をし

くセルフコントロール>

心身ともに健康で、忍耐強く、何事にも

<セルフドゥーイング>

・意欲的に取り組む生徒

優しく思いやりを持って接する生徒

前向きに取り組む生徒

<目指す生徒像>

- 自主的で実践力のある生徒
- 豊かな知性・確かな学力をもった生徒 2
- | 自他ともに愛し、社会性のある生徒 3)
- 健康で、明朗活発な生徒 4
- 道徳的心情を培い、実践する生徒

く友愛>

思いやりや優しさなど、豊かな心の育成

1. 学ぶ目的や学び方がわかる授業を実践する。

く知性>

わかる授業の展開と協同学習指導

- 2. 協同学習を取り入れ、「考える力・判断する力・伝える力」 を身につけさせる授業に力を入れる。
- 3. コミュニケーション・トレーニングで「聞く力・書く力・発表す る力」をつける。
- 4. 朝読書 (月、火15分) で語彙力・表現力・集中力の育成を図る。 5. 家庭学習の定着・習慣化を図る。
- ◆コミュニケーション・トレーニング 火曜日の終学活と木曜日の朝学活に「コミュニケーション・トレ ーニング (コミトレ)」を実施する。
- ◆協同学習
- 授業を工夫し、生徒が主体となれるアクティブラーニング(協同 学習)を中心とした生徒が学びあう授業推進を図る。
- ◆家庭学習
- 復習及び次時の授業に備えた家庭学習の定着を図る。
- ◆朝読書 月曜日と火曜日の朝、15分間の読書活動を行う。
- 水曜日と金曜日の朝、基礎学力の定着として、漢字検定(全学年) 英語検定(3年)にチャレンジする。

- 1. 明るく大きな声で率先して挨拶ができるように指導する。
- 2. 思いやりや生命尊重等の道徳教育の推進を図る。
- 3. コミトレによりコミュニケーション能力の向上に努める。
- 4. 清掃活動に力を入れ、環境美化に努める。
- 5. 生徒会活動を活性化に努める。
- 6. 家庭との連携のもと自己肯定感の向上に努める。
- ◆あいさつ運動(生徒会執行部が早朝挨拶運動を行う)の推進を図る。
- ◆コミュニケーション能力の向上 ①コミュニケーション・トレーニング (コミトレ) の実施
- ②学校行事で
- <地域との交流の中で>
- ○キャリア教育(職業体験学習)(2年)
- ○共育コミュニティー事業(茶道教室、地域共催の防災訓練、 先輩に学ぶ会、伝統文化体験)
- ○ゲストティーチャー招聘
- <学校内行事で>
- ○修学旅行(3年) 宿泊研修(1・2年)
- ○体育祭 ・美中フェスティバル (意見発表会、歌声コンクール、舞台発表)
- ○校内マラソン
- ○他校との交流(特別支援学校との交流)(1年)

く健康・体力>

健康の保持及び体力・忍耐力の向上

- 1. 基本的生活習慣を身につけ、規則正しい生活の推進に努める。2. 部活動に力を入れ、体力及び忍耐力の向上に努める。
- 3. 学校行事に主体的に取り組む生徒の育成を図る。

◆体力アップ

- 早朝トレーニングの実施。月、水、金は早朝マラソン(2学期から3年生は希望者)、火、木は部活練習に取り組むことにより、体力 向上、健康の増進及び忍耐力の育成を図る。
- 清掃活動の大切さを理解させ、美しい学校をつくる。 生徒会が中心となり『**目指せ!日本一美しい学校!**』のスローガンのもと、清掃だけでなく、心も行動も日本一美しい学校を目指して 取り組む。
- ◆部活動

自主的な練習に力を入れるととも に、積極的に取り組ませ、体力と 忍耐力の向上を目指す。

部活動で目指す生徒像

○ 挨拶のできる生徒 ルールを守れる生徒

和を 貴しと 為す

◎校訓『和』を教育の柱に据えて、思いや

りや優しさのある生徒を育て、何事も協

力し前向きに取り組める生徒を育てる。

◎少人数の利点を活かし、きめ細かい指導

◎読書指導と家庭学習に力を入れ、学力向

◎コミュニケーション能力を付けさせるた

めに、火曜日の終学活と木曜日の朝学活

で「コミュニケーション・トレーニング」

◎「協同学習」を取り入れた生徒主体の授

◎体力向上、健康増進及び耐性を付けさせ

◎保護者及び地域との連携を強め、「豊かな

みや特色ある体験活動を積極的に行う。

◎きめ細かな指導を行うために、男女及び 年齢のバランスを活かし基本的に二人担

心」を育むため、地域に根差した取り組

るために早朝マラソン (月、水、金)を 全員(2学期から3年は希望者)で実施

基本的な運営方針

と補習学習に力を入れる。

上を図る。

業改善に取り組む。

◎部活動を充実させる。

- 感謝のできる生徒
- \bigcirc 我慢のできる生徒
- 時間の守れる生徒 \bigcirc
- 奉仕のできる生徒